記 者 発 表

がんばろう！東北

# 平成３０年度
# 岩手河川国道事務所の事業概要

平成３０年　３月３０日

国土交通省東北地方整備局
岩手河川国道事務所

<<発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会>>


問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所
盛岡市上田四丁目２－２
TEL ０１９－６２４－３１３１（事務所代表）

〔河川・砂防関係〕

副所長（河川） 三浦 義昭（内線204）
工務第一課長 大平 知秀（内線311）
TEL 019-624-3198（工務第一課直通）

〔道路関係〕

副所長（道路） 十枝内 美範（内線205）
工務第二課長 佐々木 稔（内線411）
TEL 019-624-3195（工務第二課直通）
交通対策課長 岩渕 誠（内線471）
TEL 019-624-3291（交通対策課直通）


※ 記者発表資料は、「岩手河川国道事務所」のホームページで確認できます。
http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/

「東日本大震災からの復興加速」、「国民の安全・安心の確保」及び「地域の活性化」の3分野に重点的に取り組みます。

## 1．予算総括

［単位：百万円］

| 区　分 | | 平成29年度<br>当初予算 | 平成30年度<br>当初予算 | 事業箇所等 |
|---|---|---|---|---|
| 河川関係 | 国土交通省計上分 | 5,393 | 5,223 | ・北上川上流 |
| 砂防関係 | 国土交通省計上分 | 740 | 691 | ・八幡平山系 |
| 道路関係 | 国土交通省計上分 | 2,480 | 2,644 | ・国道4号・46号<br>・釜石花巻道路<br>（遠野住田～遠野）<br>・宮古盛岡横断道路<br>（都南川目道路）<br>（区界～簗川）<br>（平津戸・岩井～松草） |
| | （参考）復興庁計上分 | 23,074 | 22,549 | |

注1）予算は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。
注2）河川維持や道路維持に係る予算については、含まれていません。

## 2．主要事業の概要

【河川事業】

○一関遊水地建設事業
○北上川中流部緊急治水対策事業（紫波地区）
○北上川上流狭隘地区治水対策事業（一関・藤沢地区）
○総合水系環境整備事業

【砂防事業】

○八幡平山系直轄火山砂防事業

【道路事業】

○国道283号釜石花巻道路、国道106号宮古盛岡横断道路、国道4号水沢東バイパスなどの改築事業
○一般国道4号・46号の管理区間における交通安全対策事業、交通事故重点対策事業

# 平成３０年度　主要事業の概要

## 河 川 事 業

「継続事業の概要」

### ○一関遊水地建設事業（一関市、奥州市、西磐井郡平泉町）

一関遊水地建設事業では、大林水門、長島水門、舞川水門、小堤及び磐井川の工事を実施します。

### ○北上川中流部緊急治水対策事業（紫波地区）（紫波郡紫波町）

北上川中流部では、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水において住家を中心に甚大な浸水被害を受けたことから、早期に効果を発現する治水対策を実施します。

紫波町紫波地区では、築堤及び用地取得等を実施します。

### ○北上川上流狭隘地区治水対策事業（一関・藤沢地区）（一関市）

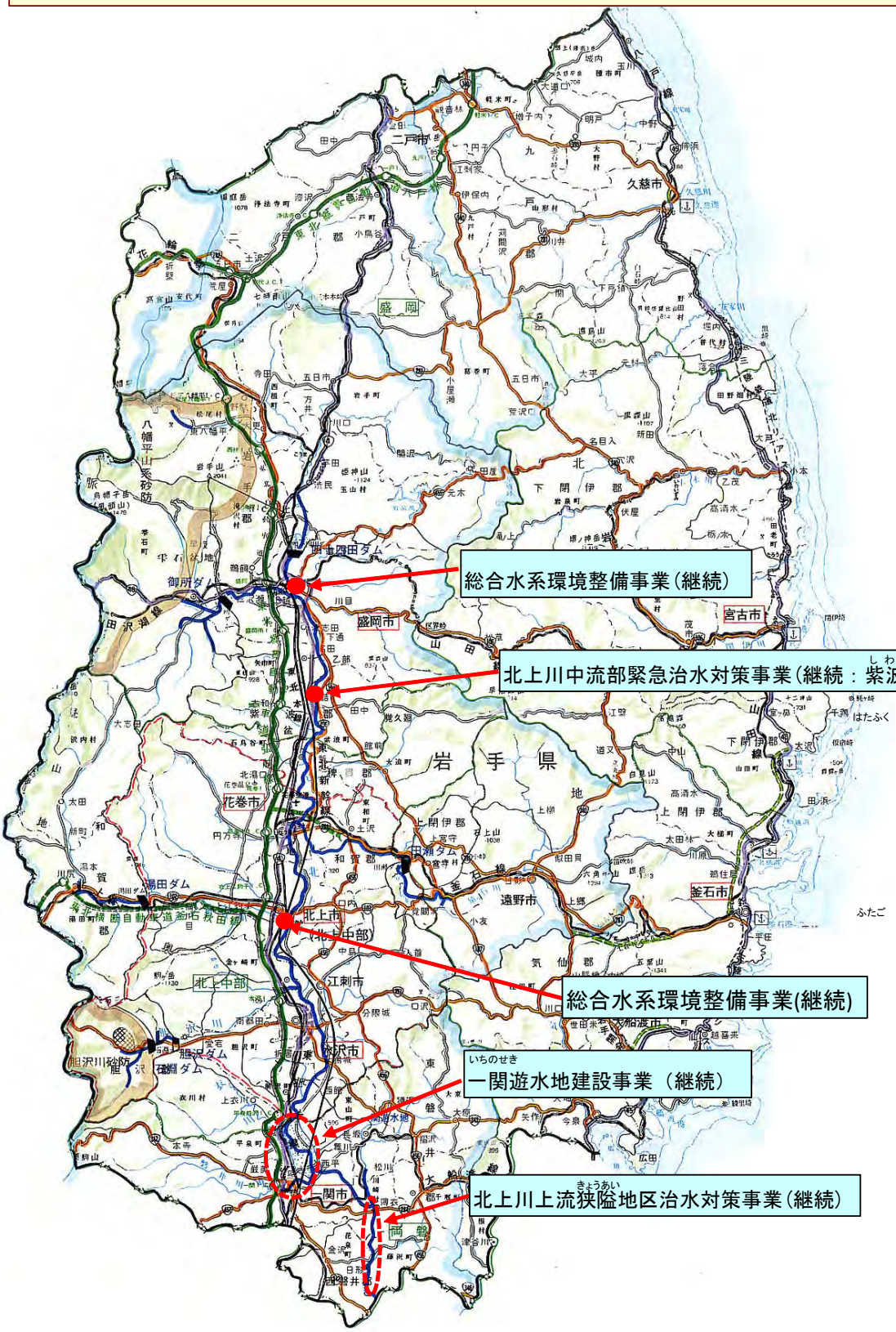
宮城県境から砂鉄川合流点までの区間（約16km）の内、一関・藤沢地区において、治水対策として、築堤（輪中堤）等の整備を実施します。

### ○総合水系環境整備事業（盛岡市、北上市）

盛岡市の北上川・中津川において盛岡市のまちづくりと連携した「盛岡かわまちづくり」として、管理用階段の整備や避難誘導看板の設置、河道整正（中州撤去）等を行い河川利用の推進を図ります。

北上市の北上川と和賀川の合流部において、礫河原・湿地の再生により良好な河川環境を再生するための「北上川上流自然再生」として、動植物のモニタリング調査を実施します。

# 平成30年度　事業箇所図
## （岩手河川国道事務所：河川）



# 北上川上流　一関遊水地建設事業

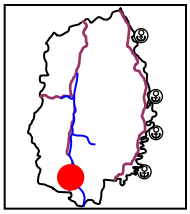
H30：4,250百万円

完成予定：H30年代

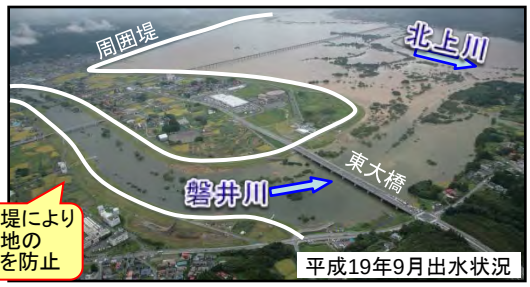
| 継続 | 岩手県一関市、奥州市、西磐井郡平泉町 | 河川 | 直轄 |
|---|---|---|---|

北上川上流域において、過去幾度となく発生している洪水被害を解消するため、「北上川治水の根幹」である一関遊水地を整備し、北上川流域の洪水被害の解消を図ります。

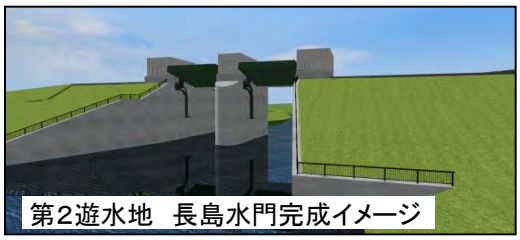
平成30年度は、築堤、水門、橋梁架替等を実施します。






周囲堤により市街地の浸水を防止




# 北上川上流 河川改修事業（紫波地区）

H30：795百万円※

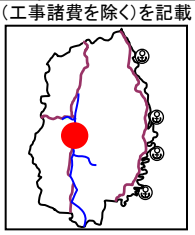
完成予定：　－

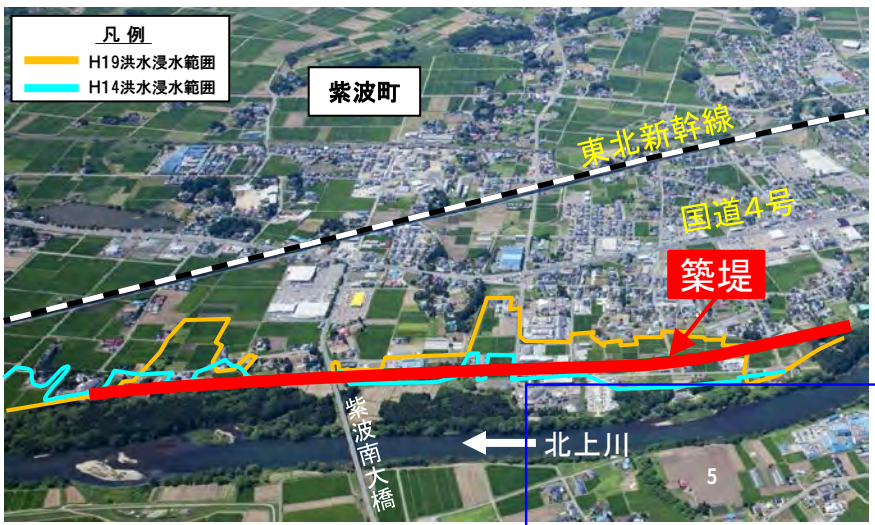
| 継続 | 岩手県紫波郡紫波町 | 河川 | 直轄 |
|---|---|---|---|

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

平成14年7月及び平成19年9月の洪水により、家屋や工場等の浸水被害が発生した当該地区において、築堤を実施します。

平成30年度は、築堤及び用地取得等を実施します。

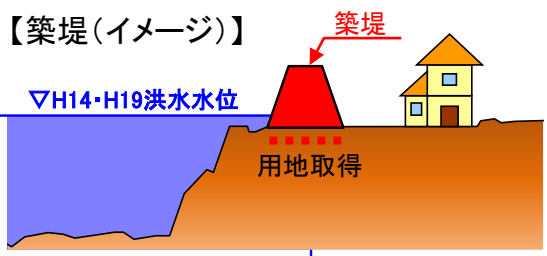








【築堤（イメージ）】



# 砂 防 事 業

## 「完成事業の概要」

≪八幡平山系直轄火山砂防事業≫

○**荒沢砂防堰堤**（岩手郡雫石町）

秋田駒ヶ岳噴火等による土砂災害から人家等を保全するため、砂防堰堤の完成を図ります。

○**国見温泉砂防堰堤**（岩手郡雫石町）

秋田駒ヶ岳噴火等による土砂災害から人家等を保全するため、砂防堰堤の完成を図ります。

○**澄川砂防堰堤**（八幡平市）

岩手山噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤管理用通路の完成を図ります。

## 「継続事業の概要」

≪八幡平山系直轄火山砂防事業≫

○**シガクラ沢砂防堰堤**（岩手郡雫石町）

秋田駒ヶ岳噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の整備促進を図ります。

○**竜川第３砂防堰堤**（岩手郡雫石町）

秋田駒ヶ岳噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の整備促進を図ります。

# 平成30年度　事業箇所図
## （岩手河川国道事務所：砂防）



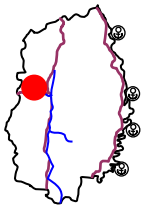
# 八幡平山系直轄砂防事業　荒沢砂防堰堤

H30：691百万円※

| 完成 | 岩手県岩手郡雫石町 | 河川（砂防） | 直轄 |
|---|---|---|---|

※上記の事業費は、当該水系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
　秋田駒ヶ岳における、大量の不安定土砂の流出による災害防止及び火山噴火による降灰後の降雨に起因する土石流に対し、大規模な土砂災害を軽減するため、砂防堰堤を整備します。

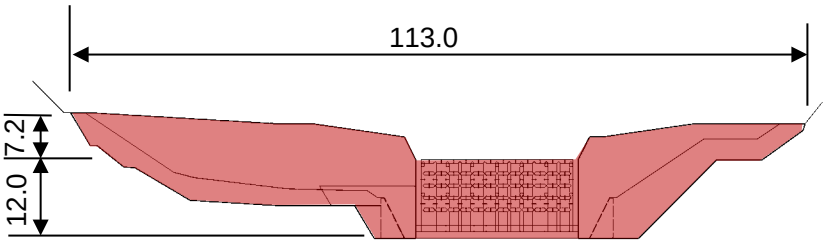








【整備効果】
　荒沢砂防堰堤の整備により、秋田駒ヶ岳噴火後に発生する土砂の流出を防止・抑制し、下流域にある人家・事業所等を保全します。




単位:m

砂防堰堤正面図




施工状況

【平成30年度の事業内容】
　砂防堰堤の整備を継続し、当該箇所の事業を完成させます。

# 平成３０年度　主要事業の概要

## 道 路 事 業

「継続事業の概要」

○国道２８３号釜石花巻道路 “遠野道路（遠野住田～遠野）”

改築事業　★　（遠野市）

遠野道路（遠野住田～遠野）は、遠野市上郷町平倉（遠野住田ＩＣ）から遠野市綾織町新里（遠野ＩＣ）を結ぶ延長約１１ｋｍの自動車専用道路です。

平成３０年度は、全線２車線開通に向けて改良工事・橋梁工事、舗装工事等を促進します。

○国道１０６号宮古盛岡横断道路

“都南川目道路、区界道路（区界～簗川）、
平津戸松草道路（平津戸・岩井～松草）”

改築事業　★　（盛岡市、宮古市）

「都南川目道路」、「区界道路（区界～簗川）」、「平津戸松草道路（平津戸・岩井～松草）」は宮古盛岡横断道路の一部を構成しており、宮古市と盛岡市を結ぶ国道106号の線形不良による交通隘路区間の解消を図るとともに、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を促進することにより、被災地の早期復興を支援する道路です。

平成３０年度は、都南川目道路においては橋梁工事・改良工事・舗装工事、区界道路及び平津戸松草道路においてはトンネル工事・橋梁工事・改良工事・舗装工事を促進します。

○国道４号 “水沢東バイパス”

改築事業（奥州市）

水沢東バイパスは、奥州市内を通過する国道４号の交通混雑の緩和と東北縦貫自動車道や東北新幹線水沢江刺駅へのアクセス機能を高め、広域的な交流の推進を目的とした、延長９．６ｋｍのバイパス事業です。

平成３０年度は改良工事を促進します。

※★の事業は、復興庁からの配分事業。

## ○国道４号“岩手４号交通安全対策（一関地区事故対策事業）”

**交通安全事業**（一関市）

一関地区事故対策は、一関市萩荘～山目地区の通学路指定されている国道４号一関大橋上り線への歩道整備により安全・安心な歩行空間を確保するとともに、付加車線整備により交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。

平成３０年度は、用地買収・橋梁工事等を促進します。

## ○国道４号“岩手４号交通安全対策（岩館地区歩道整備事業）”

**交通安全事業**（二戸郡一戸町）

岩館地区歩道整備事業は、国道４号二戸郡一戸町岩館地区において、歩行者及び自転車利用者の安全確保を図る目的として、下り線側に歩道を整備する事業です。

平成３０年度は、調査設計・用地買収・歩道設置工事等を促進します。

# 平成30年度　事業箇所図
# （岩手河川国道事務所：道路）



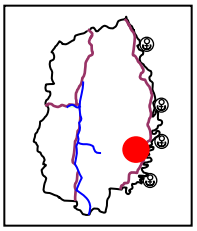
# 国道283号 釜石花巻道路（釜石～釜石西、遠野住田～遠野）

| | |
|---|---|
| 釜石～釜石西 | H30：2,449百万円 |
| 遠野住田～遠野 | H30：6,100百万円 |

| 開通 | 岩手県釜石市～遠野市 | 道路 | 直轄 |
|---|---|---|---|

## 【事業の概要】

釜石花巻道路（釜石～釜石西、遠野住田～遠野）は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。





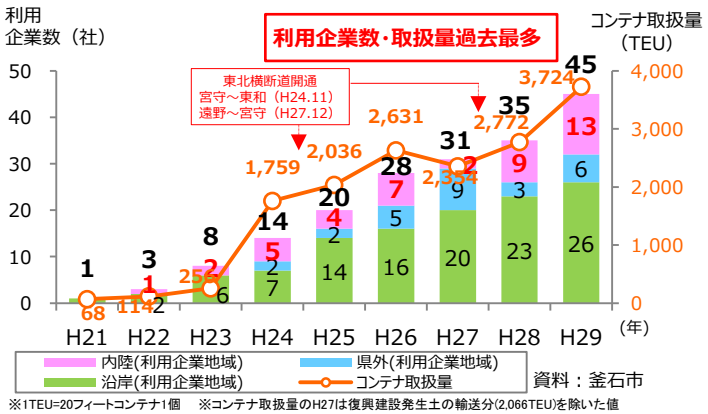




## 【整備効果】

○内陸部と釜石港とのアクセス性向上により、産業・経済の活性化を支援します。
○内陸部の主要宿泊地と釜石市を結ぶ安定した移動経路の確保により、「ラグビーワールドカップ2019™」釜石開催の円滑な大会運営を支援します。

▼釜石港利用企業数・一般貨物コンテナ取扱量の推移




資料：釜石市

※1TEU=20フィートコンテナ1個　※コンテナ取扱量のH27は復興建設発生土の輸送分(2,066TEU)を除いた値


コンテナ船・ガントリークレーン

<釜石港>
・ガントリークレーン１基増設（H29.9.23稼働）
※荷役能力は従来の３倍。岩手県導入初
・外貿コンテナ定期航路開設(H29.11.17航行)
※釜石港と中国・韓国を週１便で運行する直接航路

▼「ラグビーワールドカップ2019™」釜石開催の概要




資料：釜石市ヒアリング結果より作成

## 【平成30年度の事業内容】

全線2車線開通に向けて、改良工事、橋梁工事、舗装工事等を実施します。

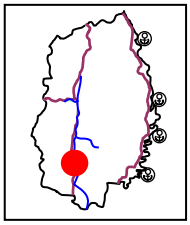
# 国道4号　水沢東バイパス

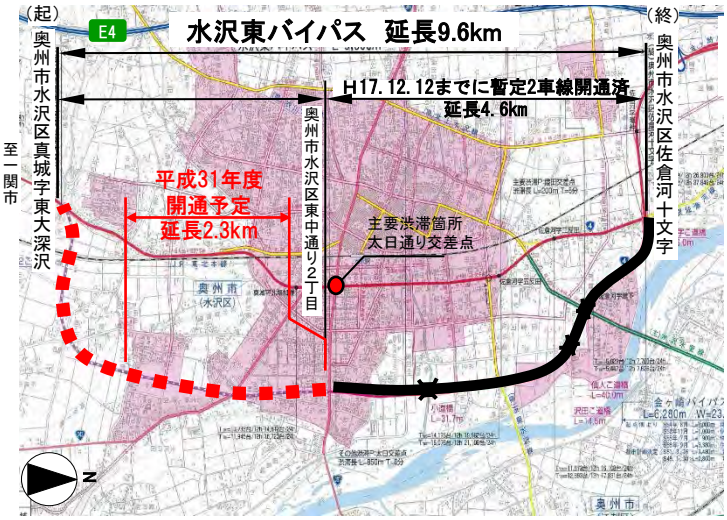
H30：810百万円

開通予定：一部H31

| 継続 | 岩手県奥州市 | 道路 | 直轄 |
|---|---|---|---|

国道4号　水沢東バイパスは、並行する国道4号の交通混雑緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善等を目的としたバイパス事業です。








▲国道4号の混雑状況

水沢東バイパスの整備により、代替路線が確保されることにより、国道4号の交通混雑の緩和等が図られます。

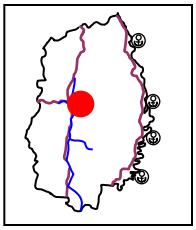
# 国道106号　宮古盛岡横断道路（区界～簗川）

H30：6,465百万円

開通予定：H32

| 継続 | 岩手県宮古市～盛岡市 | 道路 | 直轄 |
|---|---|---|---|

宮古盛岡横断道路（区界～簗川）は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援する自動車専用道路です。








▲区界～簗川の整備状況

宮古盛岡横断道路（区界～簗川）の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、災害時における代替路の確保が図られます。

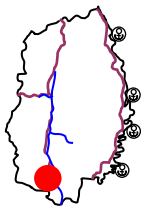
# 国道4号 岩手4号交通安全対策（一関地区事故対策）

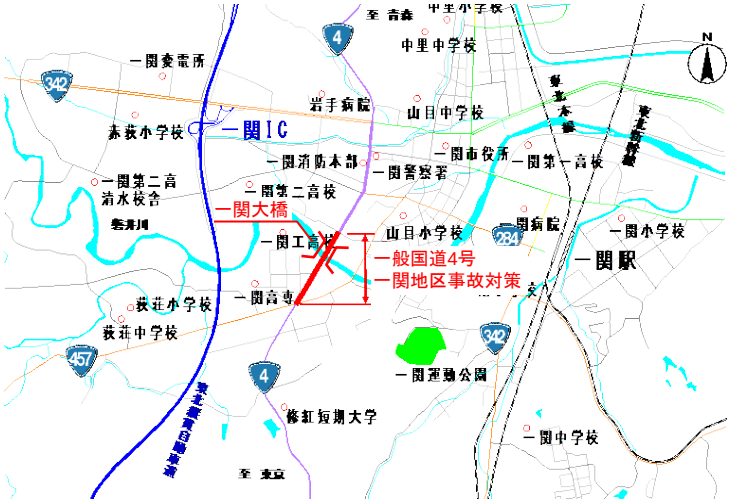
H30：486百万円

開通予定：　ー

| 継続 | 岩手県一関市 | 道路 | 直轄 |
|---|---|---|---|

一関地区事故対策は、通学路指定されている国道4号一関大橋上り線への歩道整備により安全・安心な歩行空間を確保するとともに、付加車線整備により交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。









▲一関大橋の歩道利用及び渋滞状況

歩道整備及び付加車線整備により、安全・安心な歩行空間の確保及び交通の円滑化が図られます。